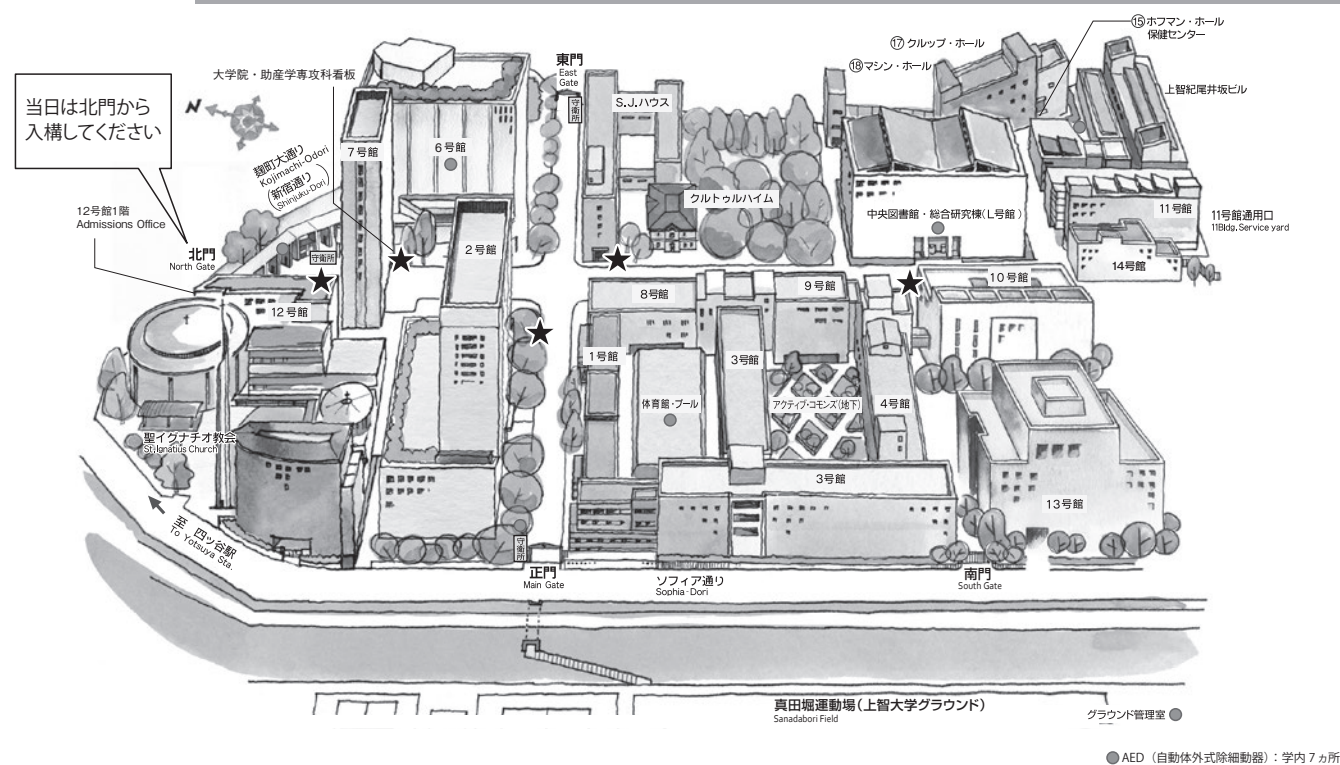


## 上智大学 四谷キャンパス案内図 Yotsuya Campus Map

★の位置に「上智大学 学位授与式」の立看板を設置しています。  
The sign “上智大学 学位授与式 / Sophia University Graduation Ceremony” is standing at ★ marked location. (Please Note: the sign is drawn in Japanese ONLY)



## 晴れの日「感染しない・させない」ために

◎手洗い・消毒は、常時励行してください。また、常時マスクを着用し、大きな声での会話は控えてください。

〈式典に関して〉

- ・必ず座席券で指定された座席に着席し、両隣の空席は使用しないでください。
- ・着席後は座席券の裏面の指示に従い、着席位置の登録を必ず行ってください。
- ・混雑を避けるため分散退場をしますので、アナウンスに従ってください。

〈式典終了後の退場から四谷キャンパスへの移動時〉

- ・退場時は密を避けるためロビー等での待ち合わせはできません。立ち止まらずに速やかに建物から退出してください。
- ・移動で公共交通機関を利用する場合はマスクを着用し、車内では大きな声での発声や会話は控えるなど公共マナーを厳守してください。

〈四谷キャンパスで〉

- ・キャンパスへは北門から入構してください。
- ・学位授与式当日は、対象の卒業生・修了生本人のみ入構できます。確認のため、入構時に式次第を提示していただく場合がありますので、この式次第を必ず携行してください。
- ・列を作る時は前の人と距離をおいて並ぶなど、キャンパス内では常にソーシャルディスタンスを保って行動してください。
- ・キャンパス内の混雑緩和のため、**午前の部の式典参加者は午後 3 時まで、午後の部の式典参加者は午後 5 時 30 分までに**キャンパスから退構してください。
- ・大人数や長時間におよぶ飲食やマスク無しでの会話は、感染リスクが非常に高まります。

**4 月以降の新生活に支障が出ないよう十分に注意し、責任のある行動を心がけてください。**

### 【重要】卒業生・修了生データ Web 入力をお願い

卒業／修了後もソフィアンとしての皆様との関係を継続すべく、こちらの QR コードリンク先にある「卒業生／修了生データ WEB 入力」へのご回答をお願いいたします。大学および同窓会組織であるソフィア会より、各種ご案内等をお送りさせていただきます。

### 【Important】Web questionnaire for Graduates

In order to continue the relationship of a member of Sophian, and sending out information/notices from the university and Sophia University Alumni Association, we ask you to answer the web questionnaire for graduates with scanning the QR code.



English Ver.



2020年度（令和2年度）

# 上智大学 学位授与式・修了式

Sophia University Graduation Ceremony March 2021

## 式次第 (Program)

開 式

Opening

祝 福 カトリック・イエズス会センター 副センター長 ホアン・アイダル  
Blessing by Juan Haidar, S.J., Deputy Director of Catholic Jesuit Center

式 辞 上 智 大 学 長 曄 道 佳 明  
Opening Address by Yoshiaki Terumichi, President of Sophia University

学位記・修了証書授与  
Presentation of Graduation Diplomas

祝 辞 学校法人上智学院 理事長 佐久間 勤  
Congratulatory Address by Tsutomu Sakuma, S.J., Chancellor of Sophia School Corporation

祝 辞 上智大学ソフィア会 会長 鳥居 正 男  
Congratulatory Address by Masao Torii, President of Sophia University Alumni Association

謝 辞 卒業生代表  
Address of Thanks by Student Representative

学長賞授与  
Presentation of President's Awards

校 歌  
University Song

閉 式  
Closing

1. 開 催 日 Date 2021 年（令和 3 年）3 月 26 日（金）Friday, March 26, 2021
2. 時 間 Time  
（午前の部）開場 午前 8 時 45 分 / 開式 午前 9 時 30 分  
対象：文学部、経済学部、総合グローバル学部、理工学部  
文学研究科、実践宗教学研究科、経済学研究科、理工学研究科  
（午後の部）開場 正午 / 開式 午後 0 時 45 分  
対象：神学部、総合人間科学部、法学部、外国語学部、国際教養学部、神学研究科、総合人間科学研究科  
法学研究科、言語科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、地球環境学研究科、助産学専攻科  
（Morning Session）Doors open at 8:45 a.m. / Ceremony begins at 9:30 a.m.  
Faculties : Humanities, Economics, Global Studies, Faculty of Science and Technology  
Graduate programs : Humanities, Applied Religious Studies, Economics, Science and Technology  
（Afternoon Session）Doors open at noon / Ceremony begins at 0:45 p.m.  
Faculties : Theology, Human Sciences, Law, Foreign Studies, Liberal Arts  
Graduate programs : Theology, Human Sciences, Law, Languages and Linguistics, Global Studies, Global Environmental Studies, Course of Midwifery
3. 式 場 Venue 東京国際フォーラム ホール A Hall A, Tokyo International Forum
4. 学科・研究科・専攻科別集会 Department/Graduate School/ Course meetings  
上智大学四谷キャンパス（四ツ谷駅下車）各会場において、開催します。  
時間・会場は一覧をご参照下さい。  
The meetings will be held on the Yotsuya Campus. Please refer to the list for Time and Venue.

コリントの信徒への手紙― 13 章 1～8 節  
 1 Corinthians 13:1~8

たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。

If I speak in the tongues of men or of angels, but do not have love, I am only a resounding gong or a clanging cymbal. If I have the gift of prophecy and can fathom all mysteries and all knowledge, and if I have a faith that can move mountains, but do not have love, I am nothing. If I give all I possess to the poor and give over my body to hardship that I may boast, but do not have love, I gain nothing.

Love is patient, love is kind. It does not envy, it does not boast, it is not proud. It does not dishonor others, it is not self-seeking, it is not easily angered, it keeps no record of wrongs. Love does not delight in evil but rejoices with the truth. It always protects, always trusts, always hopes, always perseveres. Love never fails.

上智大学校歌 University Song

作詞 逸見貞男

作曲 山本直忠



Mi - yo to - koshi - e ni      ha - ru yo-mi-ga-e-ru      Mi-do-rino ko-da-ma



ta - ka-na - ru ho-to-ri      ya-su-ra-ni i - ko-u      so-phi-a no wa-shi no



ma-na-za-shi i - ru wa      Lux Ve- ri- ta - tis      O      so - gon no



ga - ku - fu      So - phi -      a      u - ru wa-shi no



Al - ma      Ma - ter      So - phi -      a!

1. 見よ永遠に 春 甦る  
 緑の樹響 高鳴るほとり  
 やすらに憩う ソフィアの鶯の  
 まなざし射るは Lux Veritatis  
 おゝ莊嚴の学府 ソフィア  
 うるわしの アルマ・マーテル  
 ソフィア

2. 聞け黎明の 天翔けりゆく  
 鶯の翼の 空打つひびき  
 はがい集う 生命の群の  
 めざす行手は Lux Veritatis  
 おゝ莊嚴の学府 ソフィア  
 うるわしの アルマ・マーテル  
 ソフィア

3. 行け混濁の 闇打ち啓き  
 鶯のみちびく 輝く方へ  
 燃ゆる心に 固く結びて  
 叫べとどろに Lux Veritatis  
 おゝ莊嚴の学府 ソフィア  
 うるわしの アルマ・マーテル  
 ソフィア

学科・研究科・専攻科別集会場一覧      2021 年 3 月 26 日（金）  
 Venue of Department/Graduate School/ Course meetings

◆午前対象学科・研究科・専攻別集会      13:00 ～

研究科・学部	専攻・学科	集会場
文学研究科	哲学専攻 史学専攻 国文学専攻 英米文学専攻 ドイツ文学専攻 フランス文学専攻 新聞学専攻 文化交渉学専攻	6-408 6-501 6-205 6-401 6-404 6-202 6-410 6-406
文学部	哲学科 史学科 国文学科 英文学科 ドイツ文学科 フランス文学科 新聞学科	6-408 6-501 6-205 6-401 6-404 6-202 6-410
実践宗教学研究科		2-508
経済学研究科		6-204
経済学部	経済学科 経営学科	6-101 6-307
総合グローバル学部	総合グローバル学科	10 号館講堂
理工学研究科	機械工学領域	6-502
理工学専攻	電気・電子工学領域	6-303
※旧専攻の学生については対応した領域の会場	応用化学領域	2-407
Graduate School of Science and Technology	化学領域	2-406
	数学領域	4-398
	物理学領域	6-305
	生物科学領域	2-405
	情報学領域	12-201
	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域	※指導教員の指示に従う
	Green Science and Engineering Division	Follow the instructions of your supervisor
理工学部	物質生命理工学科 機能創造理工学科 情報理工学科	2-401 6-301 12-502

※各学科・研究科・専攻の教員が出席します。 Faculty members from each Department,Graduate School and Course will attend the meetings.

※終了時刻は、各学科・研究科・専攻により異なります。 The meetings will end at different time.

卒業アルバムについて  
 Graduation Album

(1) 先にお申し込みいただいた卒業アルバムは、8 月末頃に、保証人宛(※)に宅配便にてお送りいたします。  
 Graduation albums ordered will be sent to the guarantor's address at the end of August.

※ 国際教養学部の学生および留学生については、本人住所宛に送付いたします。  
 Albums for the students of the Faculty of Liberal Arts or international students will be sent to the student's address.

※ 事前に送付先変更のお申し出があった方は、その送付先にお送りいたします。  
 If you requested to change the address for the album beforehand, the album will be sent to the requested address.

(2) 卒業アルバムの新規申込をされたい方および追加購入したい方のために、下記のとおり、購入予約の申し込みを受け付けます。

日時：3 月 26 日（金）午前 10 時 30 分～午後 4 時 30 分

場所：四谷キャンパス 1 号館 106 室

We will accept your applications for pre-order/additional purchase of the graduation albums as below.  
 Date: Friday, March 26 10:30 a.m. - 4: 30 p.m.  
 Venue: Room 1-106, Yotsuya Campus





## 学位記受領者・代表者一覧 (午前の部) Morning Session

### (上智大学学位規程第5条に基づく博士)

《文 学 研 究 科》	英米文学専攻	皆川 祐太
	ドイツ文学専攻	加藤 恵哉
	新聞学専攻	DSOUZA ARUN PRAKASH
《実践宗教学研究科》	死生学専攻	井川 裕寛
	死生学専攻	丸山 登
	死生学専攻	笥 智子
《理 工 学 研 究 科》	理工学専攻	田中 尚
	理工学専攻	坂井 あづみ
	理工学専攻	ZHAO KAI
	理工学専攻	SHI HAOYUN
	理工学専攻	XU ZHENHUI
	理工学専攻	

### (上智大学学位規程第6条に基づく博士)

《理 工 学 研 究 科》	理工学専攻	長谷 宗彦
---------------	-------	-------

### (博士前期課程・修士課程・専門職学位課程)

《文 学 研 究 科》	正代表	英米文学専攻	井上 寛斗	副代表	英米文学専攻	大村 道彦
《実践宗教学研究科》	正代表	死生学専攻	松本 いく子	副代表	死生学専攻	松本 ゆう雅
《経 済 学 研 究 科》	正代表	経営学専攻	XIE SIYIN	副代表	経済学専攻	松田 義史
《理 工 学 研 究 科》	正代表	理工学専攻	関根 ありさ	副代表	理工学専攻	金丸 竣樹

### (学 士)

《文 学 部》	哲学科	正代表	園田 真未	副代表	寺島 蒼太
	史学科	正代表	中田 陽奈子	副代表	中山 寧々
	国文学科	正代表	高峰 夏子	副代表	吉岡 大輝
	英文学科	正代表	永田 ひかる	副代表	森野 知優
	ドイツ文学科	正代表	大田 黒 訓子	副代表	三宮 龍之介
	フランス文学科	正代表	蔭山 ラナアリアヌ	副代表	清水 美里
	新聞学科	正代表	南 里咲	副代表	鈴木 あかり
《経 済 学 部》	経済学科	正代表	鈴木 海渡	副代表	大谷 祥太郎
	経営学科	正代表	門田 拓真	副代表	堀井 菜々子
《総合グローバル学部》	総合グローバル学科	正代表	大原 早織	副代表	山本 明佳
《理 工 学 部》	物質生命理工学科	正代表	今井 美那	副代表	三浦 美理
	機能創造理工学科	正代表	奥野 一樹	副代表	富樫 里羽
	情報理工学科	正代表	柴田 祥太郎	副代表	山下 光大

※副代表は、正代表が何らかの事情により学位記が受領できない場合に、  
登壇して学位記を受領します。



## 学位記受領者・代表者一覧 (午後の部) Afternoon Session

### (上智大学学位規程第5条に基づく博士)

《神学研究科》	組織神学専攻	坂本 久美子
《総合人間科学研究科》	心理学専攻	厚澤 祐太郎
	心理学専攻	山本 晶友
	心理学専攻	平子 雪乃
	心理学専攻	引土 達雄
《法学研究科》	法律学専攻	千葉 実
	法律学専攻	太田 (鈕持) 麻衣
《言語科学研究科》	言語学専攻	藤田 元
	言語学専攻	加藤 万紀子
《グローバル・スタディーズ研究科》	グローバル社会専攻	ARENAS DE ITA IRAIS MARIA
	グローバル社会専攻	ROCHA DE CARVALHO MONICA
《地球環境学研究科》	地球環境学専攻	KASAON STEPHANIE JEPNG ETICH
	地球環境学専攻	HALL IAIN MATTHEW
	地球環境学専攻	SAKAPAJI STEPHEN CHITENGI
	地球環境学専攻	SONG ZHIGUANG
	地球環境学専攻	ADU ISAAC KWAKU

### (上智大学学位規程第6条に基づく博士)

《グローバル・スタディーズ研究科》	国際関係論専攻	VIEIRA MEIRELES GUSTAVO HENRIQUE
	国際関係論専攻	長村 裕佳子
	国際関係論専攻	劉 紅
	国際関係論専攻	西島 佑

### (博士前期課程・修士課程・専門職学位課程)

《神学研究科》	正代表	神学専攻	藤原 聖矢	副代表	神学専攻	松本 みずき
《総合人間科学研究科》	正代表	看護学専攻	山形 寛	副代表	教育学専攻	松倉 紗野香
《法学研究科》	正代表	法律学専攻	平石 亜希	副代表	法律学専攻	佐藤 朋代
	正代表	法曹養成専攻	日南 昌治	副代表	法曹養成専攻	坂原 正彦
《言語科学研究科》	正代表	言語学専攻	ROVCANIN INES	副代表	言語学専攻	ZHU MENGTING
《グローバル・スタディーズ研究科》	正代表	国際関係論専攻	前田 賢人	副代表	国際関係論専攻	蔣 雅薇
《地球環境学研究科》	正代表	地球環境学専攻	上岡 尚樹	副代表	地球環境学専攻	梅澤 和也

### (助産学専攻科)

正代表	吉村 美風	副代表	石塚 美賢
-----	-------	-----	-------

### (学 士)

《神学部》	神学科	正代表	佐々木 瑠那	副代表	松永 悠未
《総合人間科学部》	教育学科	正代表	小林 奈生	副代表	山本 夏希
	心理学科	正代表	土屋 遥奈	副代表	小泉 美裕
	社会学科	正代表	園田 ひとみ	副代表	山田 汐織
	社会福祉学科	正代表	藏津 優花	副代表	小杉 麻実
	看護学科	正代表	倉上 奈於	副代表	橋口 萌花
《法学部》	法律学科	正代表	藤井 結	副代表	大菅 さら
	国際関係法学科	正代表	リボー 偉美生 ロマーヌ	副代表	五十嵐 萌
	地球環境法学科	正代表	落合 亜咲	副代表	西澤 崇
《外国語学部》	英語学科	正代表	細井 里美	副代表	島崎 千夏
	ドイツ語学科	正代表	香野 夢友	副代表	尾谷 陶子
	フランス語学科	正代表	木谷 美良	副代表	石川 秋桜子
	イスパニア語学科	正代表	友永 菜緒	副代表	長岡 優斗
	ロシア語学科	正代表	大越 春花	副代表	齋藤 かれん
	ポルトガル語学科	正代表	永指 陽捺子	副代表	藤波 瑞起
《国際教養学部》	国際教養学科	正代表	Nakano Gabriela		

※副代表は、正代表が何らかの事情により学位記が受領できない場合に、登壇して学位記を受領します。

## 2020 年度 上智大学 学長賞受賞者について

上智大学

上智大学では創立 100 周年記念事業の一環として、2009 年 4 月 1 日より学生表彰制度を設置いたしました。この制度は、本学の学生または学生団体が、スポーツ、文化・芸術、環境、地域・社会貢献、国際交流、ダイバーシティ・共生等の各分野において、他の模範となる優秀な成績を収めたもの、また本学の名誉高揚に著しく貢献したものを顕彰するものです。

2020 年度は、応募 11 件の厳正な審査を行った結果、学長賞に 2 団体と 2 名が選出されました。

### ～ 受賞者紹介 ～

#### 学長賞（4 件）

※学年は、2021 年 3 月時点

- (1) Welcome to Sophia 2020（代表：総合グローバル学部総合グローバル学科 4 年次生 <sup>にしもと</sup> 西本 <sup>たくみ</sup> 拓海）  
コロナ禍における新入生および課外活動団体の支援活動

##### 【受賞理由】

新型コロナウイルス感染拡大によって 2020 年度入学式やオリエンテーション・キャンプなど新入生を対象とした行事の中止が余儀なくされる中、学生有志 18 名がいち早く新入生を支援するため同団体を創設した。新入生に向けて大学生活の疑問・不安に答える YouTube 番組を制作するとともに、新入生と教員の橋渡しとなる企画も配信。また、フレッシュマンウィークが学内で開催できなくなったことを受け、同実行委員会と協働し約 100 の課外活動団体の紹介も行った。計 50 時間を超えるこれらの配信動画は 4 万回以上再生され、新入生・在学生を含め学内外から好評を得た。コロナ禍という未曾有の事態の最中、発足から極めて短期間で質の高いコンテンツ配信を成し遂げ、新入生のために力を尽くしたことが高く評価されての受賞である。

- (2) <sup>じんの</sup> 神野 <sup>ほのか</sup> 帆夏（外国語学部英語学科 4 年次生）

オリンピック・パラリンピック開催を機に共生社会の実現を目指す Go Beyond の設立

##### 【受賞理由】

2020 年オリンピック・パラリンピックを契機に「誰もが輝ける社会」の実現を目指す学生団体「Go Beyond」を設立し、共同代表の一人として活動を牽引した。オリンピック・パラリンピックを通じて得た経験をその後の社会に還元していくという理念の下、他大学の学生団体との連携プロジェクト「BRidGe」の立ち上げも主導。これらの活動は各種メディアにも多数取り上げられている。コロナ禍によりオリンピック・パラリンピックの開催延期が決定となった後も、これまでに得た経験と成果を次の世代に引き継ぐために精力的な活動を続けてきた。リーダーとしての姿勢・行動力と、活動を通じた本学の名誉向上が高く評価されての受賞である。

(3) 上智国際法研究会 (SILC) (代表：法学部法律学科 3 年次生 村上 友太)

Philip C. Jessup International Law Moot Court Competition 2020 大会出場  
Alona E. Evans Award 受賞 (総合優秀書面第 11 位)

【受賞理由】

世界 97 カ国から 700 以上の大学等が参加する同国際法模擬裁判大会の 2020 年国内予選において準優勝となり、日本代表として世界大会に出場。世界大会では、書面で世界 134 校中第 11 位の成績を収め、Alona E. Evans Award を受賞した。この成績は日本代表として出場した大学の中でも近年最も優秀な成績である。同団体は、2010 年にも同大会の国内予選で準優勝し世界大会に出場したことが評価され学長奨励賞を受賞したが、今回は前回は大きく上回る成績を残した。課外活動団体としての継続的な努力と、本学の名誉を高めたことが評価されての受賞である。

(4) 坂下 竜一 (法学部法律学科 3 年次生)

第 21 回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会 74 kg 級ジュニア部門優勝  
日本新記録樹立、世界選手権内定

【受賞理由】

2020 年のジャパンクラシックベンチプレス選手権大会の 74kg 級ジュニア部門において日本新記録 (181kg) を樹立し優勝、2021 年世界選手権の内定を獲得した。本学生は 2019 年にも同大会にて 2020 年世界選手権の内定を獲得していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止となっていた。今回は国内大会において日本新記録を樹立するという卓越した成績を残し、2 年連続で世界選手権への出場内定を獲得した。2021 年世界選手権での活躍が大いに期待される。スポーツと学問の両立によって、本学の名誉高揚に貢献したことが高く評価されての受賞である。

以 上

## **Sophia University** **President's Award for Excellence 2020**

Sophia University

Sophia University established a student award program on April 1, 2009 as part of a commemorative project for its 100th anniversary. The program awards students or student groups of the university who have achieved excellence that serves as an example to others in the fields of sports, culture/art, environment, contribution to community/society, international exchange, diversity/inclusive society, etc., and to those who have made significant contributions to enhancement in the prestige of our university.

After a rigorous screening of 11 applications, two groups and two students were selected for the President's Award for Excellence in 2020.

### Introduction of the Recipients

#### **President's Award for Excellence (four recipients)**

\* Class years are as of March 2021

(1) Welcome to Sophia 2020 (Representative: Takumi Nishimoto, 4th year student, Department of Global Studies, Faculty of Global Studies)

Activities to support new students and extracurricular activity groups under the coronavirus pandemic

Reason for the award:

As the spread of the new coronavirus forced the cancellation of events for new students such as the 2020 entrance ceremony and orientation camp, 18 students volunteered to create this group to quickly support incoming students. In addition to producing YouTube programs that addressed questions and worries that new students had about university life, the group also delivered content that served as a bridge between new students and faculty members. In addition, in response to Freshman Week not being able to take place on campus, the group cooperate with the executive committee to introduce about 100 extracurricular activity groups. The videos, which total more than 50 hours, have been played more than 40,000 times and were well-received by people from both inside and outside the university, including new students and current students. The award highly recognizes the group for its achievement in uploading high-quality content in an extremely short period of time after its inception to support new students, under the influence of unprecedented event, coronavirus pandemic.

(2) Honoka Jinno (4th year student, Department of English Studies, Faculty of Foreign Studies)

Establishment of Go Beyond, which aims to realize an inclusive society with the Olympic and Paralympic Games

Reason for the award:

Ms. Jinno took the opportunity of the 2020 Olympic and Paralympic Games to establish the student group "Go Beyond" which aims to realize a "society where everyone can shine", and led the group's activities as one of its co-representatives. Based on the idea of returning the experiences gained through the Olympics and Paralympics back to society after they are over, she also led the launch of "BRidGe", a collaborative project with student groups of other universities. Many of the activities have been featured in various media. Even after the Olympic and Paralympic Games were postponed due to the coronavirus pandemic, she has continued to work actively to pass on the experiences and results achieved so far to the next generation. The award highly recognizes Ms. Jinno for her character and proactiveness as a leader and to the enhancement of the university's prestige through her activities.

(3) Sophia International Law Club (SILC) (Representative: Yuta Murakami, 3rd year student, Department of Law, Faculty of Law)

Participated in the Philip C. Jessup International Law Moot Court Competition 2020

Received the Alona E. Evans Award (11th place for Best Memorials)

Reason for the award:

Having won second place in the 2020 national rounds of the International Law Moot Court Competition in which more than 700 universities from 97 countries participated, the group advanced to the international rounds as a representative of Japan. At the international competition, the group won the Alona E. Evans Award, placing 11th for memorials out of 134 schools from around the world. This ranking was the best result in recent years among universities that have participated representing Japan. While the group also received the 2010 President's Award for Excellence in recognition for placing second in the national rounds and advancing to the international level, their results in 2020 greatly exceeded their previous showing. The award highly recognizes the group for its continuous efforts as an extracurricular activity organization and for enhancing the prestige of the university.

(4) Ryuichi Sakashita (3rd year student, Department of Law, Faculty of Law)

21st JAPAN Classic Bench Press Championships Junior Division 74 kg Champion

Set new Japan record, tentative spot to compete at World Championship

Reason for the award:

Mr. Sakashita set a new Japan record (181 kg) in the 74 kg Junior Division at the 2020 JAPAN Classic Bench Press Championships and won the competition, securing a tentative spot to compete at the 2021 World Championship. He had also secured a tentative spot to compete in the 2020 World Championship at the same competition in 2019, but the event was cancelled due to the spread of the new coronavirus. This time, he achieved the outstanding result of setting a new Japan record at the national level and secured a spot to compete at the World Championship for the second consecutive year. There are high hopes that he will have a successful showing at the 2021 World Championship. The award highly recognizes Mr. Sakashita for his contribution to enhancing the prestige of the university through his efforts of balancing sports and academics.